

財務諸表等

平成 21 年度

(第1期事業年度)

自 平成 21 年 10 月 1 日

至 平成 22 年 3 月 31 日

地方独立行政法人桑名市民病院

目 次

貸借対照表	1
損益計算書	3
キャッシュ・フロー計算書	4
損失の処理に関する書類(案)	5
行政サービス実施コスト計算書	6
注記事項	7

附属明細書

(1) 固定資産の取得及び処分並びに減価償却費(第84「特定の償却資産の減価に係る会計処理」による損益外減価償却相当額も含む。)の明細	9
(2) たな卸資産の明細	10
(3) 移行前地方債償還債務の明細	11
(4) 引当金の明細	12
(5) 資本金及び資本剰余金の明細	13
(6) 運営費負担金債務及び運営費負担金収益の明細	14
(7) 地方公共団体等からの財源措置の明細	15
(8) 役員及び職員の給与の明細	16
(9) 開示すべきセグメント情報	17
(10) 医業費用及び一般管理費の明細	18
(11) 上記以外の主な資産、負債、費用及び収益の明細	20

添付資料

決算報告書	(別冊)
事業報告書	(別冊)
監査報告書	(別冊)

目 次

貸借対照表	1
損益計算書	3
キャッシュ・フロー計算書	4
損失の処理に関する書類	5
行政サービス実施コスト計算書	6
注記事項	7

附属明細書

(1) 固定資産の取得及び処分並びに減価償却費(第84「特定の償却資産の減価に係る会計処理」による損益外減価償却相当額も含む。)の明細	9
(2) たな卸資産の明細	10
(3) 移行前地方債償還債務の明細	11
(4) 引当金の明細	12
(5) 資本金及び資本剰余金の明細	13
(6) 運営費負担金債務及び運営費負担金収益の明細	14
(7) 地方公共団体等からの財源措置の明細	15
(8) 役員及び職員の給与の明細	16
(9) 開示すべきセグメント情報	17
(10) 医業費用及び一般管理費の明細	18
(11) 上記以外の主な資産、負債、費用及び収益の明細	20

添付資料

決算報告書	(別冊)
事業報告書	(別冊)
監査報告書	(別冊)

貸借対照表

(平成22年3月31日)

【地方独立行政法人桑名市民病院】

(単位: 円)

科 目	金 額	
資 産 の 部		
I 固定資産		
1有形固定資産		
土地		475,244,000
建物	354,884,000	
建物減価償却累計額	▲ 32,569,543	322,314,457
構築物	2,142,811	
構築物減価償却累計額	▲ 281,495	1,861,316
車両運搬具	256,839	
車両運搬具減価償却累計額	▲ 64,213	192,626
器械備品	553,647,748	
器械備品減価償却累計額	▲ 103,692,747	449,955,001
有形固定資産合計		1,249,567,400
2無形固定資産		
ソフトウェア		16,028,153
電話加入権		42,000
無形固定資産合計		16,070,153
3投資その他の資産		
長期貸付金		4,000,000
破産更生債権等	6,067,431	
貸倒引当金	▲ 6,067,431	0
投資その他の資産合計		4,000,000
固定資産合計		1,269,637,553
II 流動資産		
現金及び預金		12,761,363
医業未収金	582,340,607	
貸倒引当金	▲ 5,726,654	576,613,953
未収入金		922,641
医薬品		21,129,584
診療材料		36,506,124
貯蔵品		989,433
流動資産合計		648,923,098
資産合計		<u>1,918,560,651</u>

貸借対照表

(平成22年3月31日)

【地方独立行政法人桑名市民病院】

(単位：円)

科 目	金 額		
負債の部			
I 固定負債			
資産見返負債			
資産見返運営費負担金	2,109,681		
資産見返補助金等	2,065,000		
資産見返寄附金	84,624,785		
資産見返物品受贈額	227,250,722	316,050,188	
移行前地方債償還債務		281,449,195	
引当金			
退職給付引当金		32,386,500	
長期リース債務		48,332,519	
固定負債合計			678,218,402
II 流動負債			
短期借入金		275,310,516	
一年以内返済予定移行前地方債償還債務		99,310,922	
短期リース債務		88,837,224	
未払金		319,398,759	
未払費用		21,921,199	
未払消費税等		2,013,500	
預り金		65,656,535	
仮受金		441,838	
引当金			
賞与引当金		105,170,285	
流動負債合計			978,060,778
負債合計			1,656,279,180
純資産の部			
I 資本金			
設立団体出資金		406,096,751	
資本金合計			406,096,751
II 資本剰余金			
資本剰余金		▲ 132,935,777	
資本剰余金合計			▲ 132,935,777
III 繰越欠損金			
当期末処理損失		▲ 10,879,503	
(うち当期純損失)		(▲10,879,503)	
利益剰余金合計			▲ 10,879,503
純資産合計			262,281,471
負債純資産合計			1,918,560,651

損益計算書

(平成21年10月1日～平成22年3月31日)

【地方独立行政法人桑名市民病院】

(単位: 円)

科 目	金 額		
営業収益			
医業収益			
入院収益	1,275,421,727		
外来収益	613,014,315		
その他医業収益	73,427,855		
保険等査定減	▲ 4,259,742	1,957,604,155	
運営費負担金収益		125,850,306	
補助金等収益		14,575,900	
寄附金収益		138,000	
資産見返運営費負担金戻入		19,450,363	
資産見返補助金等戻入		35,000	
資産見返寄附金等戻入		10,430,707	
資産見返物品受贈額戻入		50,502,001	
営業収益合計			2,178,586,432
営業費用			
医業費用			
給与費	1,137,751,863		
材料費	465,425,083		
経費	358,132,292		
減価償却費	137,476,768		
研究研修費	7,099,720	2,105,885,726	
一般管理費			
給与費	68,062,895		
経費	19,848,015		
減価償却費	1,634,823	89,545,733	
営業費用合計			2,195,431,459
営業損失			▲ 16,845,027
営業外収益			
運営費負担金収益		26,511,126	
財務収益			
預金利息	405,184	405,184	
その他営業外収益		4,971,081	
営業外収益合計			31,887,391
営業外費用			
財務費用			
移行前地方債利息	2,798,956		
短期借入金利息	4,824,689		
その他支払利息	1,200,253	8,823,898	
その他の営業外費用		1,200	
営業外費用合計			8,825,098
経常利益			6,217,266
臨時利益			
物品受贈益	26,732,525	26,732,525	26,732,525
臨時損失			
固定資産除却損	300,835		
消耗品・消耗備品費	23,590,979		
過年度賞与負担額	19,937,480	43,829,294	43,829,294
当期純損失			▲ 10,879,503
当期総損失			▲ 10,879,503

キャッシュ・フロー計算書

(平成21年10月1日～平成22年3月31日)

【地方独立行政法人桑名市民病院】

(単位: 円)

I 業務活動によるキャッシュ・フロー	
材料の購入による支出	▲ 428,752,115
人件費支出	▲ 1,157,470,847
その他の業務支出	▲ 315,672,967
医業収入	1,827,740,382
運営費負担金収入	171,480,436
補助金等収入	14,575,900
その他	22,588,770
小計	<u>134,489,559</u>
利息の受取額	405,184
利息の支払額	▲ 3,764,896
業務活動によるキャッシュ・フロー	<u>131,129,847</u>
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	▲ 4,208,770
無形固定資産の取得による支出	▲ 2,000
運営費負担金収入	2,441,040
補助金等収入	2,100,000
投資活動によるキャッシュ・フロー	<u>330,270</u>
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額	▲ 119,940,396
移行前地方債償還債務の償還による支出	▲ 43,271,132
リース債務の返済による支出	▲ 62,252,421
財務活動によるキャッシュ・フロー	<u>▲ 225,463,949</u>
IV 資金減少額	▲ 94,003,832
V 資金期首残高	<u>106,765,195</u>
VI 資金期末残高	<u><u>12,761,363</u></u>

損失の処理に関する書類(案)

【地方独立行政法人桑名市民病院】

(単位: 円)

科 目	金 額
I 当期末処理損失	▲ 10,879,503
当期総損失	▲ 10,879,503
II 次期繰越欠損金	<div style="border-top: 1px solid black; display: inline-block; width: 100px;"></div> ▲ 10,879,503

行政サービス実施コスト計算書

(平成21年10月1日～平成22年3月31日)

【地方独立行政法人桑名市民病院】

(単位：円)

科 目	金 額		
I 業務費用			
(1) 損益計算書上の費用			
医業費用	2,105,885,726		
一般管理費	89,545,733		
営業外費用	8,825,098		
臨時損失	43,829,294	2,248,085,851	
(2) 自己収入等(控除)			
医業収益	1,957,604,155		
寄附金収益	138,000		
資産見返寄附金等戻入	10,430,707		
営業外収益	5,376,265		
物品受贈益	4,331,060	1,977,880,187	
業務費用合計			270,205,664
(うち、減価償却充当補助金相当額)			(35,000)
II 引当外退職給付増加見積額			5,342,471
III 機会費用			
地方公共団体財産の無償とされた使用料による 賃借取引の機会費用	4,536,446		
地方公共団体出資の機会費用	2,368,911		
通常よりも有利な条件による融資取引の機会費用	661,619		7,566,976
IV 行政サービス実施コスト			283,115,111

注記事項

I 重要な会計方針

1. 運営費負担金収益の計上基準

期間進行基準を採用しております。

なお、移行前地方債元金利息償還金に要する経費については、費用進行基準を採用しております。

2. 減価償却の会計処理方法

(1) 有形固定資産

定額法を採用しております。

なお、主な資産の耐用年数は以下のとおりであります。

建物	2～22年
構築物	2～18年
車両運搬具	2年
器械備品	2～18年

(2) 無形固定資産

定額法を採用しております。

なお、法人内利用のソフトウェアについては、法人内における利用可能期間(5年)に基づいて償却しております。

3. 退職給付に係る引当金及び見積額の計上基準

職員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務の見込額に基づき計上しております。

なお、行政サービス実施コスト計算書における引当外退職給付増加見積額は、事業年度末に在籍する派遣職員について、当期末の自己都合要支給額から期首の自己都合要支給額を控除して計算しております。

4. 貸倒引当金の計上基準

債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については、個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上しております。

5. 賞与引当金の計上基準

役員員に対して支給する賞与に備えるため、当事業年度に負担すべき支給見込額を計上しております。

6. たな卸資産の評価基準及び評価方法

(1) 医薬品	最終仕入原価法に基づく低価法によっております。
(2) 診療材料	同上
(3) 貯蔵品	同上

7. 行政サービス実施コスト計算書における機会費用の計上方法

(1) 地方公共団体財産の無償とされた使用料による賃借取引の機会費用

不動産は近隣の地代や賃借料を参考に計算し、動産は減価償却費相当額を計上しております。

(2) 地方公共団体出資等の機会費用の計算に使用した利率

10年利付国債の平成22年3月末における利回りを参考に1.395%で計算しております。

(3) 政府又は地方公共団体等からの無利子又は通常よりも有利な条件による融資取引の機会費用の計算に

使用した利率

10年利付国債の平成22年3月末における利回りを参考に1.395%で計算しております。

8. リース取引の会計処理

リース料総額が3百万円以上のファイナンス・リース取引については、通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理によっております。

9. 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっております。

II 貸借対照表関係

引当外退職給付見積額

621,169,241 円

III キャッシュ・フロー計算書関係

1. 資金の期末残高と貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

現金及び預金勘定	12,761,363円
資金期末残高	12,761,363円

2. 重要な非資金取引

(1) ファイナンス・リースによる資産の取得	48,470,000 円
(2) 設立団体(桑名市)からの現物出資の受け入れによる資産・負債の取得	406,096,751 円
(3) 設立団体(桑名市)からの無償譲渡による資産・負債の取得	△ 132,947,777 円
(4) 平田循環器病院(現桑名市民病院分院)からの寄附による資産の取得	98,813,587 円

IV 退職給付関係

1. 退職給付債務に関する事項

退職給付債務	
退職給付引当金	32,386,500 円
(注)当法人は、退職給付債務算定方法として、簡便法によっております。	

2. 退職給付費用に関する事項

退職給付費用	
勤務費用	35,095,500 円
(注)勤務費用は簡便法による退職給付費用であります。	

V オペレーティング・リース取引関係

該当ありません。

VI 行政サービス実施コスト計算書関係

引当外退職給付増加見積額のうち、桑名市からの派遣職員に係るものは、5,342,471円となっております。

VII 重要な債務負担行為

当期に契約を締結し、翌期以降に支払いが発生する重要なものは、以下のとおりです。

契約内容	契約金額	翌事業年度以降の支払金額
手術室設備改修	12,600,000	12,600,000

財務諸表(案)

(附属明細書)

(1) 固定資産の取得及び処分並びに減価償却費(第84「特定の償却資産の減価に係る会計処理」による損益外減価償却費相当額も含む。)の明細

(単位: 円)

資産の種類	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	減価償却累計額		差引当期末残高	摘要
					当期償却額	累計額		
有形固定資産 (償却費損益内)								
建物	354,884,000	-	-	354,884,000	32,569,543	32,569,543	322,314,457	(注1)
構築物	-	2,142,811	-	2,142,811	281,495	281,495	1,861,316	(注2)
車両運搬具	-	636,839	380,000	256,839	64,213	143,378	192,626	(注2)
器械備品	-	553,647,748	-	553,647,748	103,692,747	103,692,747	449,955,001	(注2)
計	354,884,000	556,427,398	380,000	910,931,398	136,607,998	136,607,998	774,323,400	
非償却資産	475,244,000	-	-	475,244,000	-	-	475,244,000	(注1)
計	475,244,000	-	-	475,244,000	-	-	475,244,000	
有形固定資産合計	475,244,000	-	-	475,244,000	-	-	475,244,000	
建物	354,884,000	-	-	354,884,000	32,569,543	32,569,543	322,314,457	
構築物	-	2,142,811	-	2,142,811	281,495	281,495	1,861,316	
車両運搬具	-	636,839	380,000	256,839	64,213	143,378	192,626	
器械備品	-	553,647,748	-	553,647,748	103,692,747	103,692,747	449,955,001	
建設仮勘定	-	-	-	-	-	-	-	
計	830,128,000	556,427,398	380,000	1,386,175,398	136,607,998	136,607,998	1,249,567,400	
無形固定資産	-	18,452,581	-	18,452,581	2,424,428	2,424,428	16,028,153	(注2)
ソフトウエア	-	42,000	-	42,000	-	-	42,000	(注2)
電話加入権	-	18,494,581	-	18,494,581	2,424,428	2,424,428	16,070,153	
計	-	4,000,000	-	4,000,000	-	-	4,000,000	(注2)
投資その他の資産	-	6,145,818	78,387	6,067,431	-	-	6,067,431	
破産更生債権等	-	▲6,145,818	▲78,387	▲6,067,431	-	-	▲6,067,431	
貸倒引当金	-	4,000,000	-	4,000,000	-	-	4,000,000	
計	-	-	-	-	-	-	-	

(注1) 期首残高は、設立団体(桑名市)からの現物出資によるものです。

(注2) 当期増加額のうち、特殊な理由によるものは次のとおりです。

1. 設立団体(桑名市)からの無償譲与
 - 構築物 2,142,811 円
 - 車両運搬具 380,000 円
 - 器械備品 414,708,900 円
 - (ファイナンス・リース取引 139,478,988円含む)
 - ソフトウエア 7,727,081 円
 - (ファイナンス・リース取引 7,727,081円含む)
 - 電話加入権 28,000 円
2. 平田循環器病院(現桑名市民病院分院)による寄附
 - 車両運搬具 256,839 円
 - 器械備品 93,589,248 円
 - (ファイナンス・リース取引 3,746,095円含む)
 - ソフトウエア 955,500 円
 - 電話加入権 12,000 円
 - 長期貸付金 4,000,000 円

(2) たな卸資産の明細

(単位: 円)

種類	期首残高	当期増加額		当期減少額		期末残高	摘要
		当期購入・製造・ 振替	その他	払出・振替	その他		
医薬品	—	188,793,530	26,685,472	194,029,454	319,964	21,129,584	(注1,2)
診療材料	—	263,406,686	27,279,117	253,963,137	216,542	36,506,124	(注1,2)
貯蔵品	—	16,461,906	686,863	16,159,336	—	989,433	(注1)
計	—	468,662,122	54,651,452	464,151,927	536,506	58,625,141	

(注1) 当期増加額のその他は、設立団体(桑名市)及び平田循環器病院(現桑名市民病院分院)からの無償譲与によるものです。

1. 設立団体(桑名市)からの無償譲与

医薬品 24,808,597 円
 診療材料 26,068,946 円
 貯蔵品 632,363 円

2. 平田循環器病院(現桑名市民病院分院)による寄附

医薬品 1,876,875 円
 診療材料 1,210,171 円
 貯蔵品 54,500 円

(注2) 当期減少額のその他には、期限切れによる廃棄もしくは減失した資産を記載しております。

(3) 移行前地方債償還債務の明細

	銘柄	期首残高	当期増加	当期減少	期末残高	利率	償還期限	摘要
No.1	政府資金財政融資資金第62010号	6,623,476	—	317,448	6,306,028	5.000%	平成30年3月25日	(注)
No.2	政府資金簡易生命保険資金長第267360号	14,334,904	—	3,554,295	10,780,609	1.100%	平成23年9月30日	(注)
No.3	政府資金財政融資資金第13018号	15,229,542	—	3,012,587	12,216,955	1.100%	平成24年3月1日	(注)
No.4	政府資金財政融資資金第14020号	15,794,382	—	2,239,474	13,554,908	0.500%	平成25年3月1日	(注)
No.5	政府資金財政融資資金第16006号	3,568,491	—	3,568,491	—	0.500%	平成22年3月1日	(注)
No.6	政府資金財政融資資金第16007号	8,501,865	—	751,875	7,749,990	1.100%	平成27年3月1日	(注)
No.7	政府資金財政融資資金第16008号	52,614,006	—	4,652,999	47,961,007	1.100%	平成27年3月1日	(注)
No.8	政府資金財政融資資金第17004号	7,053,407	—	2,340,587	4,712,820	0.900%	平成23年3月1日	(注)
No.9	百五銀行第2100006号	3,750,000	—	1,250,000	2,500,000	1.190%	平成23年3月1日	(注)
No.10	政府資金財政融資資金第17005号	41,291,340	—	3,045,025	38,246,315	1.400%	平成28年3月1日	(注)
No.11	政府資金財政融資資金18004号	71,100,000	—	—	71,100,000	1.700%	平成34年3月1日	(注)
No.12	政府資金財政融資資金第18005号	9,451,988	—	1,869,717	7,582,271	1.100%	平成24年3月1日	(注)
No.13	三重銀行第2100009号	7,500,000	—	2,500,000	5,000,000	1.190%	平成23年3月1日	(注)
No.14	公営企業金融庫第H18-070-0301-0号	5,300,000	—	—	5,300,000	1.850%	平成34年3月20日	(注)
No.15	政府資金財政融資資金第19002号	13,147,848	—	1,858,634	11,289,214	0.700%	平成25年3月1日	(注)
No.16	桑名信用金庫第2100014号	12,500,000	—	2,500,000	10,000,000	0.895%	平成24年3月1日	(注)
No.17	桑名信用金庫第2100013号	68,670,000	—	9,810,000	58,860,000	0.930%	平成25年3月1日	(注)
No.18	政府資金財政融資資金第20002号	15,000,000	—	—	15,000,000	0.600%	平成26年3月1日	(注)
No.19	桑名信用金庫第2100017号	15,000,000	—	—	15,000,000	0.840%	平成26年3月1日	(注)
No.20	百五銀行第2100018号	37,600,000	—	—	37,600,000	0.830%	平成25年9月1日	(注)
	計	424,031,249	—	43,271,132	380,760,117			

(注) 期首残高は、設立団体(桑名市)からの現物出資によるものです。

(4) 引当金の明細

(単位: 円)

区分	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高	摘要
			目的使用	その他		
賞与引当金	—	212,969,285	107,799,000	—	105,170,285	(注)
貸倒引当金	—	12,863,113	1,069,028	—	11,794,085	
計	—	225,832,398	108,868,028	—	116,964,370	

(注) 当期増加額には、設立団体(桑名市)からの無償譲与が次のとおり含まれています。
賞与引当金 107,799,000円 貸倒引当金 9,934,165円

(5) 資本金及び資本剰余金の明細

(単位：円)

区分		期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	摘要
資本金	桑名市出資	406,096,751	—	—	406,096,751	(注1)
	計	406,096,751	—	—	406,096,751	
資本剰余金	資本剰余金					
	無償譲渡等	—	▲ 132,935,777	—	▲ 132,935,777	(注2)
	計	—	▲ 132,935,777	—	▲ 132,935,777	
	損益外減価償却累計額	—	—	—	—	
	差引計	406,096,751	▲ 132,935,777	—	273,160,974	

(注1) 期首残高は、設立団体(桑名市)からの現物出資によるものです。

(注2) 当期増加額は、設立団体(桑名市)及び平田循環器病院(現桑名市民病院分院)からの無償譲与により生じたものです。

(6) 運営費負担金債務及び運営費負担金収益の明細

(単位: 円)

負担年度	期首残高	負担金当期負担額	当期振替額				期末残高	摘要
			運営費負担金収益	資産見返運営費負担金	資本剰余金	小計		
平成21年度	—	173,921,476	152,361,432	21,560,044	—	173,921,476	—	
合計	—	173,921,476	152,361,432	21,560,044	—	173,921,476	—	

②運営費負担金収益

業務等区分	平成21年度負担分	合計
期間進行基準	126,224,868	126,224,868
費用進行基準	26,136,564	26,136,564
合計	152,361,432	152,361,432

(7) 地方公共団体等からの財源措置の明細

(単位：円)

区分	当期交付額	左の会計処理内訳					摘要
		建設仮勘定補助金等	資産見返補助金等	資本剰余金	長期預り補助金等	収益計上	
平成21年度 臨床研修費補助金	4,280,000	—	—	—	—	4,280,000	
平成21年度 保健衛生施設等施設・設備整備費補助金	2,585,100	—	2,100,000	—	—	485,100	
平成21年度 病院群輪番制病院運営費補助金	6,748,800	—	—	—	—	6,748,800	
平成21年度 公立病院環境整備交付金	3,000,000	—	—	—	—	3,000,000	
平成21年度 救急医療体制人材確保緊急支援事業補助金	62,000	—	—	—	—	62,000	
合計	16,675,900	—	2,100,000	—	—	14,575,900	

(8) 役員及び職員の給与の明細

区分	報酬又は給与		退職給与	
	支給額	支給人数	支給額	支給人数
役員	円 8,200,142 (20,100)	人 1 (1)	円 0 (-)	人 0 (-)
職員	876,071,145 (154,597,796)	287 (142)	2,709,000 (-)	23 (-)
合計	884,271,287 (154,617,896)	288 (143)	2,709,000 (-)	23 (-)

(注1) 支給額及び支給人数

非常勤職員については、外数として()内に記載しております。
また、支給人数については平均支給人数で記載しております。

(注2) 役員報酬基準及び職員給与基準の概要

役員報酬については、「地方独立行政法人桑名市民病院役員報酬等規程」に基づき支給しております。

職員については、「地方独立行政法人桑名市民病院職員給与規程」、「地方独立行政法人桑名市民病院職員特殊勤務手当規程」及び「地方独立行政法人桑名市民病院職員の期末手当及び勤勉手当に関する規程」に基づき支給しております。

(注3) 法定福利費

上記明細には法定福利費は含めておりません。

(9) 開示すべきセグメント情報

(単位：円)

区分	本院	分院	計	法人共通	合計
営業収益	1,727,758,882	450,827,550	2,178,586,432	—	2,178,586,432
医業収益	1,531,903,319	425,700,836	1,957,604,155	—	1,957,604,155
運営費負担金収益	112,084,734	13,765,572	125,850,306	—	125,850,306
資産見返物品受贈額戻入	50,502,001	—	50,502,001	—	50,502,001
その他営業収益	33,268,828	11,361,142	44,629,970	—	44,629,970
営業費用	1,814,802,688	380,628,771	2,195,431,459	—	2,195,431,459
医業費用	1,742,654,529	363,231,197	2,105,885,726	—	2,105,885,726
一般管理費	72,148,159	17,397,574	89,545,733	—	89,545,733
営業損益	▲ 87,043,806	70,198,779	▲ 16,845,027	—	▲ 16,845,027
総資産	1,696,751,090	209,048,198	1,905,799,288	12,761,363	1,918,560,651
固定資産	1,182,597,420	87,040,133	1,269,637,553	—	1,269,637,553
流動資産	514,153,670	122,008,065	636,161,735	12,761,363	648,923,098

(注1) セグメントの区分については、地方独立行政法人桑名市民病院会計規程に基づき、経理単位(本院及び分院)に区分しております。

(注2) 流動資産のうち、法人共通については、現金及び預金の額を計上しています。

(10) 医業費用及び一般管理費の明細
 (1) 医業費用

(単位：円)

科目		金額	
医業費用			
給与費			
	給料及び手当	667,976,732	
	賞与	159,896,967	
	賃金及び報酬	151,229,440	
	退職給付費用	34,103,000	
	法定福利費	124,545,724	1,137,751,863
材料費			
	薬品費	194,029,454	
	診療材料費	253,963,137	
	給食材料費	16,159,336	
	医療消耗備品費	736,650	
	たな卸資産減耗費	536,506	465,425,083
経費			
	厚生福利費	2,421,334	
	報償費	120,000	
	修学費	5,690,000	
	旅費交通費	95,164	
	職員被服費	654,993	
	消耗品費	3,815,986	
	消耗備品費	1,356,451	
	光熱水費	30,319,152	
	燃料費	236,957	
	食糧費	19,670	
	印刷製本費	1,686,867	
	修繕費	49,638,064	
	保険料	627,183	
	賃借料	37,259,596	
	通信運搬費	2,875,927	
	委託料	172,211,442	
	手数料	3,129,899	
	広告料	1,182,506	
	諸会費	983,200	
	交際費	92,253	
	租税公課	40,726,113	
	雑費	60,587	
	貸倒引当金繰入額	2,928,948	358,132,292
減価償却費			
	建物減価償却費	30,941,141	
	構築物減価償却費	281,495	
	車両運搬具減価償却費	136,957	
	器械備品減価償却費	103,692,747	
	無形固定資産減価償却費	2,424,428	137,476,768
研究研修費			
	謝金	2,720,642	
	図書費	1,375,086	
	旅費	2,041,126	
	研究雑費	962,866	7,099,720
	医業費用合計		2,105,885,726

(2)一般管理費

(単位：円)

科目	金額	
一般管理費		
給与費		
役員報酬	8,220,242	
給料及び手当	39,040,518	
賞与	9,156,928	
賃金	3,368,356	
退職給付費用	992,500	
法定福利費	7,284,351	68,062,895
経費		
厚生福利費	132,395	
報償費	154,020	
旅費交通費	109,731	
職員被服費	18,177	
消耗品費	4,892,984	
消耗備品費	173,432	
光熱水費	1,883,732	
燃料費	16,876	
食糧費	4,423	
印刷製本費	555,970	
修繕費	2,681,267	
保険料	7,040	
賃借料	3,442,705	
通信運搬費	182,596	
委託料	3,269,952	
手数料	888,659	
広告料	66,405	
諸会費	251,055	
交際費	191,303	
租税公課	920,684	
雑費	4,609	19,848,015
減価償却費		
建物減価償却費	1,628,402	
車両運搬具減価償却費	6,421	1,634,823
一般管理費合計		89,545,733

(11) 上記以外の主な資産、負債、費用及び収益の明細

(現金及び預金の内訳)

(単位：円)

区分	期末残高	備考
現金	1,699,789	
普通預金	11,061,574	
合計	12,761,363	

(医業未収金の内訳)

(単位：円)

区分	期末残高	備考
入院未収金	417,697,535	
外来未収金	151,308,327	
その他	13,334,745	
合計	582,340,607	

(資産見返物品受贈額の内訳)

(単位：円)

区分	期末残高	備考
構築物	1,861,316	(注)
器械備品	225,389,406	(注)
合計	227,250,722	

(注) 上記は全て設立団体(桑名市)からの無償譲与により生じたものです。

(短期借入金の内訳)

(単位：円)

区分	期末残高	備考
大垣共立銀行 桑名支店	275,310,516	
合計	275,310,516	

(未払金の内訳)

(単位：円)

区分	期末残高	備考
給与費	64,716,724	
材料費	160,539,305	
固定資産購入費	2,440,830	
経費その他	91,701,900	
合計	319,398,759	

平成 21 年度
決算報告書(案)

自平成 21 年 10 月 1 日

至平成 22 年 3 月 31 日

地方独立行政法人桑名市民病院

平成21年度決算報告書

【地方独立行政法人桑名市民病院】

(単位: 円)

区 分	当初予算額	決算額	差 額 (決算額-当初予算額)	備 考
収入				
営業収益	1,928,000,000	2,101,993,897	173,993,897	
医業収益	1,906,000,000	1,961,429,691	55,429,691	延入院患者数、1人1日当入院収益の増による。
運営費負担金	22,000,000	125,850,306	103,850,306	科目更正(営業外収益:運営費負担金より)による。
補助金等収益	0	14,575,900	14,575,900	科目更正(その他営業外収益より)による。
寄附金等収益	0	138,000	138,000	
営業外収益	171,000,000	32,123,955	▲ 138,876,045	
運営費負担金	121,000,000	26,511,126	▲ 94,488,874	科目更正(営業収益:運営費負担金へ)による。
運営費交付金	36,000,000	0	▲ 36,000,000	勘定科目への組替による。
その他営業外収益	14,000,000	5,612,829	▲ 8,387,171	科目更正(営業収益:補助金等収益へ)による。
資本収入	27,000,000	0	▲ 27,000,000	
運営費負担金	27,000,000	0	▲ 27,000,000	科目更正(営業外収益:運営費負担金へ)による。
長期借入金	0	0	0	
その他資本収入	0	0	0	
その他の収入	0	0	0	
計	2,126,000,000	2,134,117,852	8,117,852	
支出			0	
営業費用	2,146,000,000	2,142,590,871	▲ 3,409,129	
医業費用	2,093,000,000	2,050,498,154	▲ 42,501,846	
給与費	1,190,000,000	1,138,309,279	▲ 51,690,721	退職手当負担減による。
材料費	520,000,000	465,514,362	▲ 54,485,638	薬品費・給食材料費の減による。
経費	371,000,000	439,321,848	68,321,848	修繕費・委託料の増による。
研究研修費	12,000,000	7,352,665	▲ 4,647,335	旅費の減による。
一般管理費	53,000,000	92,092,717	39,092,717	一般管理費算定率の更正による。
営業外費用	46,000,000	7,659,287	▲ 38,340,713	
資本支出	53,000,000	50,253,212	▲ 2,746,788	
建設改良費	0	6,982,080	6,982,080	
償還金	43,000,000	43,271,132	271,132	器械備品の購入による。
その他資本支出	10,000,000	0	▲ 10,000,000	
貯蔵品購入限度額	514,333,000	127,210,639	▲ 387,122,361	科目更正(経費へ)による。
その他の支出	0	0	0	
計	2,245,000,000	2,200,503,370	▲ 44,496,630	
単年度資金収支(収入-支出)	▲ 119,000,000	▲ 66,385,518	52,614,482	

(注) 損益計算書の計上額と決算額の相違の概要は、以下のとおりであります。

- (1) 損益計算書の営業収益に計上されている資産見返運営費負担金戻入、資産見返補助金等戻入、資産見返寄附金等戻入及び資産見返物品受贈額戻入は、決算額に含んでおりません。
- (2) 損益計算書の営業費用の医業費用、一般管理費に計上されている減価償却費は、決算額に含んでおりません。
- (3) 損益計算書の臨時損益は、決算報告書に含んでおりません。
- (4) 決算額には、医業費用の経費に消費税及び地方消費税が含まれております。
- (5) 上記数値は消費税等込みの金額を記載しております。

平成 21 年度
事業報告書(案)

自平成 21 年 10 月 1 日

至平成 22 年 3 月 31 日

地方独立行政法人桑名市民病院

目 次

「地方独立行政法人桑名市民病院の概要」

1 現況	1
① 法人名	
② 所在地	
③ 役員の状況	
④ 設置・運営する病院	
⑤ 職員数	
2 桑名市民病院の基本的な目標等	1

「全体的な状況」

1 法人の総括と課題	2
2 大項目ごとの特記事項	3
(1) 市民に提供するサービスその他の業務の質の向上に関する取組	3
(2) 業務運営の改善及び効率化に関する取組	3

「項目別の状況」

第1 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するため とるべき措置	3
1 高度医療の提供	3
(1) 重点的に取り組む医療の実施	3
(2) 診療機能の整備	4
(3) 高度医療機器の計画的な整備及び更新	4
(4) 災害時及び重大な感染症の流行時等における医療協力体制の整備	4
2 医療水準の向上	5
(1) 医療職の人材確保	5
(2) 医療職の専門性及び医療技術の向上	5
(3) 地域医療連携の推進	6
(4) クリニカルパスの作成及び適用と後方支援体制の整備	6
3 患者サービスの一層の向上	7
(1) 診療待ち時間等の改善	7
(2) 院内環境の快適性向上	7
(3) 患者の利便性向上	8
(4) 職員の接遇向上	8
(5) ボランティアとの協働によるサービス向上	8
4 より安心して信頼できる質の高い医療の提供	8
(1) 医療安全対策の徹底	8

(2) 患者中心の医療の実践	8
(3) 法令の遵守等	8
(4) 電子カルテシステムの導入	9
(5) 病院機能評価の認定	9
(6) 市民への保健医療情報の提供及び発信	9
第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置	9
1 地方独立行政法人としての運営管理体制の確立	9
(1) 適切かつ弾力的な人員配置	9
(2) 事務部門の職務能力の向上	9
(3) 新しい人事評価制度の構築	10
(4) 勤務成績を考慮した給与制度の導入	10
(5) 職員の就労環境の整備	10
(6) 業務改善に取り組む組織風土の醸成	10
(7) 予算の弾力化等	10
(8) 収入の確保と支出の節減	10
第3 予算(人件費の見積りを含む。)、収支計画及び資金計画	14
第4 短期借入金の限度額	16
1 借入残高	16
2 短期借入金の発生理由	16
第5 重要な財産を譲渡し、又は担保に供する計画	16
第6 剰余金の使途	16
第7 桑名市地方独立行政法人法施行細則(平成21年桑名市規則第26号)第5条で定める 事項	16

地方独立行政法人桑名市民病院事業報告書

「地方独立行政法人桑名市民病院の概要」

1 現況

① 法人名
地方独立行政法人桑名市民病院

② 所在地
桑名市大字北別所 416 番地1

③ 役員の状況

(平成 22 年 3 月 31 日現在)

役職名	氏名	備考
理事長	足立 幸彦	桑名市民病院長
理事	平田 和男	桑名市民病院分院長
理事	藤岡 正樹	桑名市民病院副院長
理事	柳川 智子	桑名市民病院看護部長
理事	石田 聡	桑名市民病院内科部長
監事	橋本 等	税理士

④ 設置・運営する病院
別表のとおり

⑤ 職員数 (平成 22 年 3 月 31 日現在)
387 人 [理事長1人、桑名市民病院 315 人(常勤職員 233 人、臨時職員 82 人)、
桑名市民病院分院 71 人(常勤職員 50 人、臨時職員 21 人)]

2 桑名市民病院の基本的な目標等

桑名市民病院は、地域の中核病院として、救急医療をはじめとする高度医療を提供するとともに、桑名市及び地域における医療水準の向上に寄与してきた。

今後も、地方独立行政法人への移行に合わせて開設した桑名市民病院分院とともに、救急医療、小児・周産期医療、感染症医療、高度医療等の不採算医療や政策医療、病気の予防や健診等、市民の健康を守るための医療を継続的かつ安定的に提供する公的医療機関としての責務があり、このような医療を提供するために、新たな地域の中核病院の実現に取り組む必要がある。

このため、地方独立行政法人桑名市民病院は、制度の特長を十分に活かした病院運営、病院を取り巻く環境の変化への迅速な対応、医療の質の更なる向上に取り組み、あわせて経営の効率化、職員の意識改革、患者及び市民のニーズを把握する取組みを行い、その期待に最大限応えていくことが求められている。

(別表)

病院名	桑名市民病院	桑名市民病院分院
主な役割及び機能	○地域中核病院 ○救急指定病院 ○厚生労働省指定臨床研修病院 ○日本医療機能評価機構認定病院	○循環器系疾患専門病院 ○救急指定病院 ○日本医療機能評価機構認定病院
所在地	桑名市大字北別所 416 番地1	桑名市中央町一丁目 32 番地1
設立(※)	昭和 41 年 4 月 23 日	昭和 26 年 5 月
病床数	一般 234 床	一般 79 床
診療科目	内科、呼吸器内科、循環器内科、神経内科、外科、整形外科、脳神経外科、精神科、小児科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、放射線科、歯科口腔外科	内科、消化器内科、循環器内科、外科、心臓血管外科

※ 設立欄は、桑名市民病院は市立病院としての設立時、桑名市民病院分院は旧平田外科医院としての設立時を記載

「全体的な状況」

1 法人の総括と課題

地方独立行政法人として最初の年度となる平成 21 年度は、法人運営の基盤となる理事会や、市民病院(本院)と市民病院分院(分院)の管理・監督的な職員から成る合同企画運営会議をはじめとする運営体制を整備するとともに、法人としての基本理念、基本方針及び基本目標を新たに定め、役職員への浸透に努めた。

提供する医療サービスについては、両病院の重要な医療機能である救急医療は、前年より多くの救急患者を受け入れた。診療機能の整備としては、平成 21 年 11 月から新たな専門外来として肥満外来を設置した。医療職の人材確保としては、随時採用や希望に応じた勤務条件といった柔軟な人事管理を取り入れ、また職員の努力や法人の業績が反映される給与制度を導入した。地方独立行政法人の最大の特長である、柔軟性・迅速性を活かしたこれらの対策を実施したことにより、新たに本院においては麻酔科医、分院においては循環器内科医の確保に目途がつき、平成 22 年度には麻酔科を標榜することが可能となった。

経営状況について、収入の確保においては、前期に比べ入院患者数、1日当たり入院収益、病床利用率が増加し、外来患者と1日当たり外来収益が前期並みを維持したことにより、医業収益が 6.9%増加した。一方、費用の節減においては、後発医薬品の採用率及び採用数は計画をほぼ達成し、両病院で使用する薬品及び診療材料のより安価なものへの統一に努めた。さらに、競争入札と随意契約の実施条件に差を設けず、契約の性質や目的に応じて最も効果的な方法を選択可能としたことで、業者が限定される契約については、価格交渉の上での随意契約を行い、より有利な契約内容とする取組みを行った。これらの結果、当初計画では約1億6,000万円の赤字を見込んでいたところ、約1,100万円の赤字となった。

今後の課題としては、提供する医療を充実することで患者の期待に引き続き応えるとともに、両病院の存在意義をより高めていくことにより、まだ両病院を受診したことのない患者の需要を

開拓し、患者数を増やすことが重要である。

また、効果が現れている収入確保対策を継続し、費用の節減対策を推進するとともに、平成 22 年度診療報酬改定に対応していく必要がある。

勤務成績を考慮した給与制度の運用の基礎となる新しい人事評価制度は、平成 22 年度から医師以外の職員に対し本格的に導入する予定である。

2 大項目ごとの特記事項

(1) 市民に提供するサービスその他の業務の質の向上に関する取組

両病院が担っている、地域中核的急性期病院、救急指定病院等の役割について、救急車搬送患者の受入数や手術件数などの実績において着実に果たすことができた。

重大な感染症の流行時における医療協力体制として、新型インフルエンザの流行時に新型インフルエンザワクチン接種受託医療機関として登録するとともに、協力入院医療機関として、人工呼吸器や感染防御資材の備蓄を行っている。

臨床研修医の受入れについて、医学生を対象とした修学資金貸与制度や臨床研修プログラムの充実等の効果により、修学資金の応募が 3 人、病院見学の希望者は前年度から大幅に増えて 14 人という状況になり、医師臨床研修マッチングも定数枠を満たす 3 人を確保した。

患者の利便性向上として、平成 22 年 3 月から、本院において医療費のデビットカードによる支払いを可能とし(分院は導入済)、クレジットカードによる決済も準備を進めている。

医療の質を検証して確保するため、本院において(財)日本医療機能評価機構による病院機能評価の認定を平成 21 年 12 月に取得した(分院は取得済)。

これらをはじめ、市民に提供するサービスその他の業務の質の向上に関する取組については、年度計画を概ね順調に達成することができた。

(2) 業務運営の改善及び効率化に関する取組

法人の運営が的確に行えるよう、理事会や合同企画運営会議など、必要な運営管理体制を構築した。

外来受付や各部署間の書類運搬業務は、これまで看護助手が行っていたが、その内容から事務職員が行う業務とし、職員の適切な配置を図った。事務部門については、桑名市からの職員を 4 人減員し、法人独自の職員を 2 人採用するとともに、医事部門の職員をプロパー化し、専門分野に精通した職員を確保した。

収入の確保につながる医師及び看護師の充実については、民間人材バンクによる募集も取り入れ、費用の節減については、医薬品や診療材料などについて、適正な価格で納入できるよう価格交渉に努めた。

これらをはじめ、業務運営の改善及び効率化に関する取組については、年度計画を概ね順調に達成することができた。

「項目別の状況」

第 1 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置

1 高度医療の提供

(1) 重点的に取り組む医療の実施

病院群輪番制の参加病院が 5 病院から 4 病院に減少し、市民病院の当番日が増加した中、365 日 24 時間救急医療を提供する体制を維持し、年度計画を達成する救急車搬送患者を受け入れた。

[桑名市消防本部救急搬送患者数に占める受入れ患者数の割合]

病院名	平成 21 年計画値	平成 21 年実績値
桑名市民病院	21.0%	21.6%
桑名市民病院分院		

生活習慣病指導室を設置し、糖尿病を始めとする生活習慣病を専門に診察、検査する体制を整え、フットケアを行うなど治療内容を充実させたが、その他の疾患については、平成 21 年度中に成果を挙げるまでには至っていない。

[がん、脳血管障害、循環器疾患及び糖尿病の患者数]

区分		平成 20 年度実績値	平成 21 年度実績値
本院	がん	965 人	539 人
	脳血管障害	425 人	162 人
	循環器疾患	1,329 人	493 人
	糖尿病	1,081 人	1,341 人
分院	がん	8 人	5 人
	脳血管障害	16 人	22 人
	循環器疾患	713 人	926 人
	糖尿病	525 人	390 人
備考 がん、脳血管障害及び循環器疾患については入院疾患数、糖尿病については外来患者数。			

(2) 診療機能の整備

平成 22 年 3 月に患者アンケートを実施し、交通手段などの患者動向や提供する医療の満足度などの医療需要を把握した。

他病院の離脱により負担が増した輪番制を維持し、かつ病診連携による機能分担を進め、入院医療に重点的に取り組むため、土曜日の外来診療を休止した。

一方で、患者ニーズに応えるため、産婦人科、皮膚科及び耳鼻いんこう科において、午後の外来診療を行う曜日を設けた。

院内助産所の開設に向け、助産師の募集を開始した。

平成 21 年 11 月から、新たな専門外来として肥満外来を設置した。

(3) 高度医療機器の計画的な整備及び更新

平成 21 年 10 月に、本院において PACS (医療画像保管伝送システム) を導入した。これにより、CT や MR の撮影画像がデジタルデータで保管され (フィルムレス化)、モニタ端末のある場所であればどこでも、かつ短時間で画像の表示が可能となった。これにより、過去のフィルムを探す手間や運搬にかかる時間が削減でき、待ち時間など患者負担を減少させることができた。また、フィルムの取り違えを減らす効果も期待でき、素早く正確な医療に貢献するほか、フィルム材料費などのコストを減らし、フィルムレスによる診療報酬の加算も取得できた。

(4) 災害時及び重大な感染症の流行時等における医療協力体制の整備

新型インフルエンザの流行に伴い、新型インフルエンザワクチン接種受託医療機関として登録するとともに、協力入院医療機関として、人工呼吸器や感染防御資材の備蓄を行っている。

平成 21 年 9 月及び 11 月に実施された桑名・いなべ医師会合同の災害救助訓練に、医師 1 人及び看護師 2 名が参加した。

2 医療水準の向上

(1) 医療職の人材確保

医師については、業務に直接役立つ資格を有する場合に支給する医師手当の資格等加算、要請を受けて他病院の業務に従事した場合に支給する派遣手当を新設した。また、大学との連携や民間人材バンクによる募集により、5 人の医師(非常勤)を確保した。

◎臨床研修プログラムの充実内容

大阪府泉州救命救急センター(救急医療)、三重大学医学部附属病院(全診療科)、国立病院機構三重病院(小児科)と提携し、協力病院を充実。

研修 2 年目のエレクトィブ(選択)期間を 12 か月の最長とするなど、研修医の希望に沿える自由度の高いカリキュラムを設定。

◎医学生及び後期研修医に対する奨学金制度の新設

医学生:月額 10 万円、後期研修医:月額 22 万円

これらの結果、奨学金の応募が 3 人(医学生)、病院見学の希望者は前年度から大幅に増えて 14 人という状況になり、医師臨床研修マッチングも定数枠を満たす 3 人を確保した。

医師以外の病院見学又は実習については、法人への移行後に 6 件 8 人を受け入れた。

また、小学校始期までの子を持つ女性医師の宿日直については、免除する運用を以前から行っている。

柔軟な雇用形態としては、短時間正規職員制度で医師 1 人を確保したほか、夜間勤務専従制度も導入し、看護師 1 人と介護職 2 人を確保した。

(2) 医療職の専門性及び医療技術の向上

発表者としての学会参加には、法人負担経費の増額により支援を拡大した。

職務上必要な資格取得や研修への参加として、糖尿病にかかる質の高い看護師育成事業、医療安全管理者養成研修、感染制御講習会など、一定期間受講が必要な研修に参加させた。

[学会、発表会等への延べ参加者数(カッコ内はうち発表者数)]

区分		平成 20 年度実績値	平成 21 年度実績値
本院	医師	122 人(18 人)	115 人(9 人)
	看護師	105 人(3 人)	93 人(2 人)
	医療技術員	44 人(1 人)	77 人(2 人)
	小計	271 人(22 人)	285 人(13 人)
分院	医師	0 人(0 人)	5 人(0 人)
	看護師	25 人(0 人)	25 人(0 人)
	医療技術員	32 人(1 人)	54 人(0 人)
	小計	57 人(1 人)	84 人(0 人)

合計	328人(23人)	369人(13人)
----	-----------	-----------

また、皮膚・排泄ケア分野の認定看護師資格の取得のため、看護師1人を研修会に6か月間参加させている。

平成22年3月に、市民病院の主催で脳卒中初期診療コース(ISLSコース)を開催し、脳卒中初期診療の手技や知識を共有するためのシミュレーション研修を行った。参加者：看護師10人

(3) 地域医療連携の推進

◎地域連携パスの状況

稼動中：脳卒中

検討中：大腿骨骨折、糖尿病

桑名医師会及びいなべ医師会と、オープン病床に関する合意書を平成21年12月に締結し、契約した医師からオープン病床が可能となった。

紹介率は、医師会や各医療機関との連携を強化して紹介患者の受入に努めた結果、計画値を上回った。特に分院は、数値が5%以上向上した。

[紹介率]

病院名	平成21年度計画値	平成21年度実績値
桑名市民病院	28.0%	29.8%
桑名市民病院分院	26.5%	32.2%

他の医療機関からの検査受託件数は、患者紹介と同様に連携を強化して、計画値をほぼ達成した。

[他の医療機関からの検査受託件数]

病院名	区分	平成21年度計画値	平成21年度実績値
桑名市民病院	MRI	12件	16件
	睡眠時無呼吸症候群簡易検査	4件	2件
桑名市民病院分院	CT	18件	17件

備考 計画値及び実績値については、平成21年4月から9月までの実績値を含む。

(4) クリニカルパスの作成及び適用と後方支援体制の整備

パス委員会において、現在運用しているパスを点検し、その内容と運用方法について必要な修正を行った。

また、新たに自己血輸血ほかのパスを作成し、運用を開始した。

[クリニカルパスの種類数]

病院名	平成20年度実績値	平成21年度実績値
桑名市民病院	13	23
桑名市民病院分院	7	8

◎ パス委員会の開催状況

(法人移行前) 4回

(法人移行後) 4回

市民病院及び市民病院分院が後方支援する医療機関数は、平成20年度の3から2つ増えて5となり、計画値を上回った。

〔後方支援する医療機関数〕

病院名	平成21年度計画値	平成21年度実績値
桑名市民病院及び分院	4	5

地域医療連携室について、退院支援の機能を強化して、医療連携・医療相談・退院支援室とし、退院支援専任の看護師長を訪問看護室の看護師長が兼務することで、退院後のサービスを円滑に移行させる計画を固めた。(平成22年度から実施)

3 患者サービスの一層の向上

(1) 診療待ち時間等の改善

患者アンケート(既出)において、待ち時間に関する質問項目を設け、現況及び原因を把握した。結果は、他の項目と比較して満足度が低く、予約のない診察待ち時間や会計待ち時間の影響が大きいことが明らかになった。

待ち時間の短縮対策として、紹介状を持つ患者を特に案内する体制を整えたほか、入院手続きをワンストップ化する手順をまとめ、平成22年度から導入することになった。

検査機器の稼働件数及び稼働率は、前年度と比較して概ね向上した。

〔検査機器の稼働件数及び稼働率〕

区分		平成20年度実績値	平成21年度実績値
本院	MRI	2,752件 92.3%	2,842件 98.2%
	CT	6,770件 64.4%	6,670件 63.4%
分院	CT	691件 19.4%	839件 32.3%

備考 計画値及び実績値には、平成21年4月から9月までの実績値を含む。

手術待機期間を短縮するため、手術件数の増加が図れる体制の整備に取り組み、外部からの麻酔科医の確保(3人)などにより、計画値を達成した。

〔手術件数〕

病院名	平成21年度計画値	平成21年度実績値
桑名市民病院	1,100件	1,100件
桑名市民病院分院		

備考 計画値及び実績値には、平成21年4月から9月までの実績値を含む。

(2) 院内環境の快適性向上

病院機能評価認定への取り組みにおいて、来院者に快適な環境を提供するため、各職場での整理整頓と美化活動を一斉に行った。

院内施設の改修又は補修については、施設の現状から維持修繕に迫られ、快適性の向上

のための整備には至っていない。

(3) 患者の利便性向上

平成 22 年 3 月から、本院においてデビットカードを利用可能とし(分院は導入済)、クレジットカードによる決済も平成 22 年度の導入に向けて準備を進めている。

(4) 職員の接遇向上

院内の投書「あなたの声」は、法人への移行後6か月で 77 件あり、患者や家族からの意見や苦情に対して改善策を講じた。

平成 21 年度は、アンケートを法人移行前に2回、移行後に1回(既出)、計3回実施した。

糖尿病の治療や予防に関心を持つ人たちが集い、交流しながら、糖尿病に上手につき合っていくため、糖尿病患者会の立ち上げに向けて参加者を募っている。

講師を招いて、病院全体での接遇研修を2回実施した。

(5) ボランティアとの協働によるサービス向上

ボランティア活動登録制度を設け、ボランティア活動を推進した。生け花、介助活動に各 1 人の登録があり、生け花については定期的に活動している。

また、毎年開催している看護フェスティバルとクリスマス会に加え、定期的な絵画・写真の展示にもボランティアが参加している。

4 より安心で信頼できる質の高い医療の提供

(1) 医療安全対策の徹底

医療安全管理委員会の分野別組織として、院内感染対策委員会、ICT、医薬品安全管理委員会、医療機器安全委員会、医療ガス安全管理委員会、リスクマネージャー部会、輸血療法ならびに血液製剤管理委託委員会、臨床検査適正化委員会を置き、それぞれの分野から医療安全対策を検討し、現場にフィードバックしている。

医療安全管理に関する研修会を法人移行前に 6 回、移行後に 2 回、計 8 回実施し、医療安全に対する意識を高めている。

ICTは毎月各部署をラウンド、問題点を指摘し、同じく毎月開催している院内感染対策委員会において改善策を協議して、院内に周知している。

平成 22 年 2 月に手術室のクリーン度アップの工事を実施した。

(2) 患者中心の医療の実践

患者や家族から治療方針について十分な説明がなかった等の意見が寄せられた場合には、患者サービス委員会において改善策を検討し、関係部署にフィードバックしている。

医療相談室については、医療連携・医療相談・退院支援室に再編成して機能の充実を図ることを決定し、平成 22 年度から始動する。(既出)

(3) 法令の遵守等

平成 21 年 11 月に、法人の職員倫理規程を制定するとともに、同規程の事例集を法人内に示し、職員が遵守すべき職務に係る倫理原則や具体的な行動を明らかにした。

個人情報保護推進委員会及び個人情報保護管理者部会を開催し、個人情報保護対策のチェックと検討を行った。結果を院内にフィードバックし、適切な個人情報保護及び情報開示体制を徹底した。

◎個人情報保護推進委員会及び個人情報保護管理者部会の開催状況

(法人移行前)委員会 : 2 回、部会 : 6 回

(法人移行後)部会：4回

(4) 電子カルテシステムの導入

電子カルテシステムのメーカーと、メーカーごとのシステムの内容、導入事例、評判などを収集した。

(5) 病院機能評価の認定

本院において、平成 21 年 12 月に病院機能評価の認定を取得した。(分院は取得済)

(6) 市民への保健医療情報の提供及び発信

◎出前講座の実績

開催要請件数：7件、参加者数：124人

◎市民公開講座の実績

平成 21 年 10 月 11 日に市民病院の独法化記念事業として、桑名市民会館で開催。講座聴講のほか各種体験コーナーも設け、約 200 人の参加者があった。

◎ホームページの実績

アクセス総数(平成 21 年1月～12月):68,936 件

◎桑名市広報への記事掲載実績

毎月 1 日発行の桑名市広報に市民病院だよりのコーナー(1 ページ)を確保し、医療に関する情報や各種教室の参加者募集の記事を掲載した。

第 2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置

1 地方独立行政法人としての運営管理体制の確立

法人への移行により、意思決定機関である理事会、本院と分院の意思疎通を図る合同企画運営会議を立ち上げた。病院経営状況を把握し、日常の業務運営を統括する企画運営会議、情報を院内全体で共有する代表者運営会議、各種委員会といったこれまでの諸会議とあわせて、運営管理体制を構築し、目標管理下における業務運営に当たっている。

(1) 適切かつ弾力的な人員配置

これまで、外来での受付や書類などの各部署間の運搬は、看護部所属の看護助手が行ってきたが、その内容から事務職員が行う業務に仕分け、看護助手は病棟などの本来の看護業務に専念させた。

夜勤専従の臨時職員(看護師1人、介護士2人)を採用し、夜間の入院医療サービスを充実した。

(2) 事務部門の職務能力の向上

法人への移行時に、桑名市からの職員を4人減員し、専門的な知識を持つ正規職員を2人採用するとともに、医事系の臨時職員 21 人を常勤嘱託職員として採用した。

[事務職員数]

区分		平成 21 年 9 月末現在	平成 21 年 10 月 1 日現在
本院	常勤職員	8 人	31 人
	臨時職員	37 人	16 人
	市職員 (移行後は派遣)	17 人	13 人

	計	64人	60人
分院	常勤職員	16人	15人
	臨時職員	3人	3人
	計	19人	18人

(3) 新しい人事評価制度の構築

平成21年12月に、コンサルタント会社との業務委託契約の下、新しい人事評価制度の構築を開始した。平成22年2月からは、人事評価プロジェクト会議を設置し、各部署の代表も参加して、制度の内容について検討を重ねている。(平成22年度中に構築を完了し、導入する予定)

(4) 勤務成績を考慮した給与制度の導入

法人への移行時に、昇給や昇格において職員の努力や法人の業績を反映することができる職員給与規程を制定した。

個別の昇給号俸数の決定などについては、新しい人事評価制度の導入に併せて運用を開始することになる。

さらに、退職手当についても、年功序列の要素が強い従来の制度を見直して病院貢献度を反映できるポイント制を導入することとした。

(5) 職員の就労環境の整備

嘱託職員としての採用(26人)のほか、臨時職員の勤務回数、勤務時間において、希望に応じた設定を取り入れた。

時間外勤務の削減としては、時間外の勤務時間数や問題点に関する調査を開始した。また、時間外の会議の回数、会議時間についても、1回当たりの会議時間の上限を定め、資料の簡潔化や事前配布などにより効率化する対策を平成22年度から行う。

育児休業の期間は、民間では対象となる子が1歳6か月までが一般的だが、3歳までとした。

(6) 業務改善に取り組む組織風土の醸成

企画運営会議、代表者運営会議、各種委員会などで積極的な提案に加え、新しい人事評価制度の構築など特定の課題については、各部署の代表が参画するほか、職員向けの説明会を開催し、意見を聴取する場を設けている。

(7) 予算の弾力化等

会計規程において、競争入札と随意契約の実施条件に差を設けず、契約の性質や目的に応じ、費用の節減、業務の効率性等において最も効果的な方法を選択できる制度とした。薬品や診療材料など業者が限定される場合には、交渉により、より有利な契約内容とする取り組みを行った。

(8) 収入の確保と支出の節減

ア 収入の確保

(ア) 医師及び看護師の充実

医師派遣元など関係各所との連携、医師・看護師の民間人材バンクへの登録による募集な

どにより、人員を確保した。

〔医師数〕

区分		平成 21 年 10 月 1 日現在	平成 22 年 3 月 31 日現在
本院	常勤職員	29 人	27 人
	臨時職員	22 人	26 人
	計	51 人	53 人
分院	常勤職員	2 人	2 人
	臨時職員	21 人	19 人
	計	23 人	21 人

〔看護師数〕

区分		平成 21 年 10 月 1 日現在	平成 22 年 3 月 31 日現在
本院	常勤職員	127 人	123 人
	臨時職員	33 人	35 人
	計	160 人	158 人
分院	常勤職員	16 人	16 人
	臨時職員	9 人	9 人
	計	25 人	25 人

(イ)7対1入院基本料の維持

7対1入院基本料は、維持することができた。

(ウ)DPC 制度の活用

DPC 制度については、平成 21 年 4 月から導入病院となり、同規模他病院と診療報酬を比較した分析等を行うことにより、収入の確保対策の検討に活用した。

(エ)入院については入院患者数及び1日当たり入院収益の増加、病床利用率の向上及び平均在院日数の短縮、外来については外来患者数及び1日当たり外来収益の増加

法人への移行前と移行後の入院患者数、1日当たり入院収益、病床利用率、平均在院日数、外来患者数及び1日当たり外来収益は、下記のとおりだった。

〔入院患者数、病床利用率、平均在院日数及び外来患者数〕

区分		法人化前 (21 年 4 月～9 月)	法人化後 (21 年 10 月～22 年 3 月)
本院	入院患者数	22,002 人	25,257 人
	1日当たり入院収益	40,270 円	39,916 円
	病床利用率	51.4%	59.3%

	平均在院日数	15.0 日	16.1 日
	外来患者数	62,720 人	61,658 人
	1日当たり外来収益	7,791 円	7,796 円
分院	入院患者数	3,968 人	3,455 人
	1日当たり入院収益	69,570 円	77,430 円
	病床利用率	21.8%	21.0%
	平均在院日数	5.7 日	5.6 日
	外来患者数	14,840 人	15,096 人
	1日当たり外来収益	9,750 円	9,620 円

(オ) 高度医療機器の稼働率の向上

検査機器の稼働件数及び稼働率は、前年度と比較して概ね増加した。(既出)

[検査機器の稼働件数及び稼働率]

区分		平成 20 年度実績値	平成 21 年度実績値
本院	MRI	2,752 件 92.3%	2,842 件 98.2%
	CT	6,770 件 62.5%	6,670 件 63.4%
分院	CT	691 件 19.4%	839 件 32.3%
備考 計画値及び実績値には、平成 21 年 4 月から 9 月までの実績値を含む。			

(カ) 診療報酬の改定や健康保険法等の改正に関する情報を迅速に収集することによる、それらへの的確な対処。チェック体制の強化と医事・診療部門間の緊密な連携による、診療報酬の請求漏れや減点の防止

診療報酬の請求漏れや減点防止のため、レセプトチェックシステムを利用し、医事職員とのダブルチェックを実施している。

(キ) 患者ごとの収納状況を整理と把握することによる未収金の未然防止、及び督促、戸別訪問を始めとした早期回収対策の実施

滞納者に対し、手紙と電話による催告や分納誓約の取り交わし、医事職員(安全対策員)の戸別訪問による未収金回収を継続して実施している。

イ 費用の削減

医薬品、診療材料等の購入や清掃、警備等の業務委託については、2 病院で一括して調達及び契約に向けた準備を開始する。

(ア) 後発医薬品の採用促進

後発医薬品については、採用率、採用数ともに、年度計画をほぼ達成した。

〔後発医薬品採用率及び採用数〕

区分	病院名	平成 21 年度計画値	平成 21 年度実績値
後発医薬品 採用率	桑名市民病院	13%	14.1%
	桑名市民病院分院	9%	9.0%
後発医薬品 採用数	桑名市民病院	130	138
	桑名市民病院分院	65	60
備考 平成 21 年度計画値には、平成 21 年 4 月から 9 月までの実績値を含む。			

(イ) 薬品及び診療材料における同種・同効果のものの整理、購入方法の見直し、定期的なたな卸しの実施並びに過剰な在庫の防止による死蔵品及び期限切れ廃棄品の削減

薬品及び診療材料については、両病院からなる検討会を設置し、両病院で使用している薬品及び診療材料の情報交換を行った。その結果、薬品については、同じ薬品を共同購入する単価契約を締結し、診療材料については、洗い出した同種・同効果の診療材料のうち、より安価な方の購入を順次開始している。

(ウ) 委託内容、委託先及び契約方法等を全般的に見直すことによる既存の業務委託の適正化、並びに効率化が見込める業務における新規の業務委託の推進

医療機器の保守契約において、交換部品やその頻度など、実際の保守内容と比較して契約内容が大きく上回っているものについては、適正な契約内容に変更、又は契約先と交渉の上、内容を変えずに契約金額を変更した。

(エ) 医療安全の確保、医療の質や患者サービスの向上等に十分配慮した上での業務の効率化・業務量の適正化による人件費の節減

法人への移行時に制定した職員給与規程において、職務の級や特殊勤務手当の種類を整理し、職員それぞれの業務に見合った人件費支出となるよう見直した。

業務の効率化による時間外勤務の削減に向けた取組みを開始した。(既出)

第3 予算(人件費の見積りを含む。)、収支計画及び資金計画

※ 財務諸表及び決算報告書を参照

1 予算

(単位:百万円)

区分	予算額	決算額	差額 (決算額-予算額)
収入			
営業収益	1,928	2,102	174
医業収益	1,906	1,961	55
運営費負担金収益	22	126	104
補助金等収益	0	15	15
寄附金等収益	0	0	0
営業外収益	171	32	△139
運営費負担金収益	121	27	△94
運営費交付金収益	36	0	△36
その他営業外収益	14	6	△8
資本収入	27	0	△27
運営費負担金収益	27	0	△27
長期借入金	0	0	0
その他の資本収入	0	0	0
その他の収入	0	0	0
計	2,126	2,134	8
支出			
営業費用	2,146	2,143	△3
医業費用	2,093	2,050	△43
給与費	1,190	1,138	△52
材料費	520	466	△54
経費	371	439	68
研究研修費	12	7	△5
一般管理費	53	92	39
営業外費用	46	8	△38
資本支出	53	50	△3
建設改良費	0	7	7
償還金	43	43	0
その他資本支出	10	0	△10
その他の支出	0	0	0
計	2,245	2,201	△40

※各項目の数値は端数を四捨五入しており、各項目ごとの数値の合計と計の欄の数値は一致しないことがある。

2 収支計画

(単位:百万円)

区分	計画額	決算額	差額 (決算額-計画額)
収入の部	2,099	2,237	138
営業収益	1,928	2,179	251
医業収益	1,906	1,958	52
運営費負担金収益	22	126	104
補助金等収益	0	15	15
寄附金等収益	0	0	0
資産見返運営費負担金戻入	0	19	19
資産見返補助金等戻入	0	0	0
資産見返寄附金等戻入	0	10	10
資産見返物品受贈額戻入	0	51	51
営業外収益	171	32	△139
運営費負担金収益	121	27	△94
財務収益	36	0	△36
預金利息	0	0	0
その他営業外収益	14	5	△9
臨時利益	0	27	27
支出の部	2,257	2,248	△9
営業費用	2,211	2,195	△16
医業費用	2,158	2,106	△52
給与費	1,190	1,138	△52
材料費	520	465	△55
経費	371	358	△13
減価償却費	65	137	72
研究研修費	12	7	△5
一般管理費	53	90	37
営業外費用	46	9	37
臨時損失	0	44	44
純利益	△158	△11	147
総利益	△158	△11	147

※各項目の数値は端数を四捨五入しており、各項目ごとの数値の合計と計の欄の数値は一致しないことがある。

3 資金計画

(単位:百万円)

区分	計画額	決算額	差額 (決算額-計画額)
資金収入	2,126	2,148	22
業務活動による収入	2,099	2,037	△62
診療業務による収入	1,906	1,828	△78
運営費負担金による収入	143	171	28
運営費交付金による収入	36	0	△36
補助金等による収入	0	15	15
その他業務活動による収入	14	23	9
投資活動による収入	27	4	△23
運営費負担金による収入	27	2	△25
その他の投資活動による収入	0	2	2
財務活動による収入	0	0	0
長期借入による収入	0	0	0
その他の財務活動による収入	0	0	0
桑名市からの繰越金	0	107	107
資金支出	2,126	2,148	22
業務活動による支出	2,192	1,906	△286
給与費支出	1,190	1,157	△33
材料費支出	520	429	△91
その他の業務活動による支出	483	319	△164
投資活動による支出	10	4	△6
有形固定資産の取得による支出	0	4	4
その他の投資活動による支出	10	0	△10
財務活動による支出	43	225	182
長期借入の返済による支出	0	0	0
移行前地方債償還債務の償還による支出	43	43	0
その他の財務活動による支出	0	182	182
次年度への繰越金	△119	13	132

※各項目の数値は端数を四捨五入しており、各項目ごとの数値の合計と計の欄の数値は一致しないことがある。

第4 短期借入金の限度額

1 借入残高 275,310,516 円

2 短期借入金の発生理由

当面の支払い能力を超える債務への対応(実質的な資金不足)

第5 重要な財産を譲渡し、又は担保に供する計画

該当なし

第6 剰余金の使途

該当なし

第7 桑名市地方独立行政法人法施行細則(平成21年桑名市規則第26号)第5条で定める

事項

法人と桑名市で構成する「新病院整備計画検討会」を立ち上げ、新病院の実現に向けて具体的な検討に入った。

監査報告書

地方独立行政法人桑名市民病院

理事長 足立 幸彦様

私監事は、地方独立行政法人法第13条第4項及び第34条第2項の規定に基づき、地方独立行政法人桑名市民病院の平成21年10月1日から平成22年3月31日までの第1期事業年度の業務及び会計について監査を行いました。その結果について、以下のとおり報告いたします。

1. 監事監査の方法

私監事は、地方独立行政法人桑名市民病院監事監査規程に従い、理事会に出席するほか、理事等から業務の報告を聴取し、必要な書類を閲覧し、業務及び財産の状況を調査し、財務諸表、事業報告書並びに決算報告書につき検討を加えました。

理事と法人間の利益相反取引、理事の法人業務以外の金銭上の利益を目的とする業務の実施、重要な財産の取得、処分及び管理、法令違反行為並びに業務上の事故等に関しては、上記の監査の方法のほか、必要に応じて理事等から報告を求め、当該事項の状況を調査いたしました。

2. 監査の結果

- (1) 事業報告書は、法令等に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- (2) 貸借対照表及び損益計算書は、法令等に従い、法人の財政状態及び運営状況を正しく示しているものと認めます。
- (3) キャッシュ・フロー計算書は、法令等に従い、各活動区分に従って法人のキャッシュ・フローの状況を正しく示しているものと認めます。
- (4) 損失の処理に関する書類（案）は、法令等に適合し、かつ、法人財産の状況その他の事情に照らし指摘すべき事項は認められません。
- (5) 行政サービス実施コスト計算書は、法令等に従い、業務運営に係るコストの状況を発生原因ごとに正しく示しているものと認めます。
- (6) 附属明細書は、記載すべき事項を正しく示しており、指摘すべき事項は認められません。
- (7) 決算報告書は、法令等に従い、予算の区分に従って決算の状況を正しく示しているものと認めます。
- (8) 理事の業務遂行に関しては、不正の行為または法令等に違反する重大な事実は認められません。

なお、理事と法人間の利益相反取引、理事の法人業務以外の金銭上の利益を目的とする業務の実施、重要な財産の取得、処分及び管理、法令違反行為並びに業務上の事故等についても理事の義務違反は認められません。

平成22年6月11日

地方独立行政法人桑名市民病院

監事 橋本 等